

# PressRelease

(令和元年8月13日号)

当所会員事業所の株式会社こころより情報提供がございました。一般社団法人竹原地区医師会主催において、来る9月8日(日)ドキュメンタリー映画の上映会開催のご案内が以下のとおり届いております。報道機関各位におかれましては、情報発信のご協力の程よろしくお願ひします。

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私—

## 「ぼけますから、よろしくお願ひします。」

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

開催日：令和元年9月8日(日)13:30~上映

15:20~16:00 信友尚子監督の講演があります。

会場：竹原市民館

(竹原市中央5丁目5-24 / Tel: 0846-22-0010)

入場料：無料

主催：一般社団法人 竹原地区医師会

共催：竹原市

ひとり娘 ドキュメンタリー監督 信谷直子プロフィール  
1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。

【お問い合わせ先】

一般社団法人竹原地区医師会

〒725-0026 広島県竹原市中央三丁目14-1

(竹原市保健センター内)

TEL(0846)22-9377

【送信元】

竹原商工会議所 中小企業振興課 (担当: 田中)

Tel: 0846-22-2424 / Fax: 0846-22-2038

e-mail: tanaka@takeharacci.or.jp

報道機関各位 ◀◀◀ 竹原商工会議所

文字・画像等見づらい場合は、メールにてデータを送信することも出来ますので、お気軽にお申し付け下さい。

# PressRelease

(令和元年8月13日号)

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私 —

ぴあ映画 初日満足度1位 (公開初日満足度1位)  
文部科学省 特別選定映画  
厚生労働省 推薦映画

日本医師会 推薦  
公益社団法人 日本看護協会 推薦  
公益社団法人 日本介護福祉士会 推薦  
公益社団法人 認知症の人と家族の会 推薦  
広島県知事推奨

DOCUMENTARY映画

## ぼけますから、

よろしくお願ひします。

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録



監督・撮影・語り  
ひとり娘 信友直子

2018年/日本/カラー/102分/ ©「ぼけますから、よろしくお願ひします。」製作・配給委員会 [www.bokemasu.com](http://www.bokemasu.com)

令和元年 **9月8日(日)13:30~上映**  
15:20~16:00 信友直子監督の講演があります

会場: **竹原市民館ホール** **入場無料**  
竹原市中央5丁目5-24 TEL 0846-22-0010  
\*商業施設への駐車は迷惑となりますので遠慮ください。 上映時間 102分

主催: 一般社団法人 竹原地区医師会  
共催: 竹原市

問合せ先 一般社団法人 竹原地区医師会  
TEL 0846-22-9377

12:30	開場
13:25	開会挨拶
13:30	映画上映
15:20	講演
16:10	閉会挨拶

日本語  
字幕付き  
で上映します。

【送信元】

竹原商工会議所 中小企業振興課 (担当: 田中)

Tel: 0846-22-2424 / Fax: 0846-22-2038

e-mail: tanaka@takeharacci.or.jp

文字・画像等見づらい場合は、メールにてデータを送信することも出来ますので、お気軽にお申し付け下さい。

# PressRelease

(令和元年8月13日号)



## カマウを向け、初めて気づいた 両親がお互いを思い合っているということ。

**母、87歳、認知症。  
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めめめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けて人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

**大反響のテレビドキュメンタリー、  
待望の映画化。**

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



津町呉は車の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。

ひとり娘  
ドキュメンタリー監督  
**信友直子**

1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル観賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



涙涙。椅子から立てないくらいの衝撃でした。(56歳女性)

いまだに涙がとまりません。思いやりが人生を豊かにすること。忘れずに生きていきたいです。(49歳女性)

まるでお家にお邪魔しているように。心がキューっと苦しくなったり、ぼっ、と心が温かくなったり。(29歳女性)

お三方の声のなんと優しいこと。こんな優しさに満ちた声の響きを聞いたことはありませんでした。(74歳男性)

番組にいただいた感想の一部です

考えさせられます。夫婦とは家族とは老いるとは…娘さんの泣きながらの撮影にもらい泣きました。(55歳女性)



ドキュメンタリー映画

## ぼけますから、よろしくお願ひします。

親が子を思う愛、子が親を思う愛。すべてを受け入れるという何より難しく何より美しいもの。そんな映画を見た私はなんて幸せなんだ。本当に本当に、私、涙が止まらなかった。  
長与千穂 (マールバスプロレス代表)

推薦コメント  
の一部です

あれだけできた母が、何もできなくなった。いくら、娘がそれでもいいと言っても、母の謝罪はない。母とは、誰かの為になる喜び。母が何もできなくても、いてくれる感謝のある娘と夫！なんと、よく聞けたね！映像に生きたあなたを育てたのは、このボケた母ちゃんや、ボケてええ！  
綾戸智恵 (ジャズシンガー)

【送信元】

竹原商工会議所 中小企業振興課 (担当:田中)

Tel:0846-22-2424/Fax:0846-22-2038

e-mail:tanaka@takeharacci.or.jp